

地域リハビリ支援報告書

支援対象者) ○○ ○○様

相談支援事業者) ○○相談支援事業所 (○○ ○○様)

支援日時) 令和○年○月○日 ○時○分から○時○分

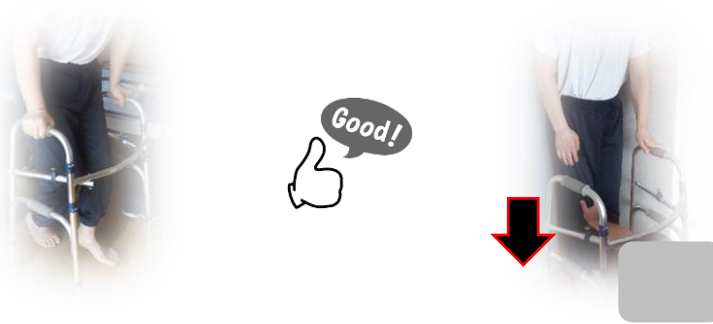
支援目的) 1. 自宅リハビリの様子、手すり設置についての確認
2. 日常生活活動の評価と必要な支援の検討

支援者) 地域リハビリ推進室・デイサービスセンターつながる 木原
○○相談支援事業所 ○○様

支援内容)

1a. 自宅リハビリの様子の確認

- ①固定式 (pick up) 歩行器での歩行練習 ②壁を背に立位で右下肢の支持性の向上



- ③自宅での歩行機会を作る (1日1食は歩行器移動での座椅子で食事) →座椅子からの立ち上がり



課題) 右下肢の筋緊張が高く尖足位になりやすいため、右下肢の支持性が乏しい。

提案) 座位・立位での右膝・足の可動域を他動的に促すとともに装具またはハイカットシューズ(→→)でその状態が維持できるようにする。



1b. 手すりの設置について

先日、手すりの設置について住宅改修費用給付に関して調査が入ったが、対象とならなかった。廊下に手すりを設置しても使用できない、頭がぶつかるから設置はまだ早いと言われた (母親)



2. 日常生活活動の評価と必要な支援の検討

自宅はバリアフリーで専用の居室から車椅子自走で居間・トイレ・浴室へ移動している。

①トイレ) 手すりなど使用しスムーズに移乗している。座った状態でズボン上げ下ろしできる。



②入浴) 入浴時はシャワーチェアを利用し移乗はほぼ自立している。洗身介助が入っている。



課題) 浴槽横には手すり設置されているが、立ち上がりに介助必要。

提案) 浴槽からの立ち上がりに両手支持ができるように、浴槽に挟み式の手すりを設置できるか検討する。(→→)

③着替え) ベッド上で横になりズボンの上げ下ろしできる。

④その他) 自営の事務仕事の手伝いは行っていないが、パソコン教室は継続して通えている。



総括)

母親) 将来的に施設入所は考えておらず、姉も同居してご本人の面倒も見ると言ってくれているので、いまのところは、自宅での生活を考えています。そのために、自宅の廊下などに手すりを設置して、わざわざ車椅子に移乗しなくても、つたい歩きで家中は移動できるようになって欲しいと考えています。



片手手すり・片手杖での移動 (A) & つたい歩き (B) の練習をデイで行い、自宅での手すり設置につなげていきます。

デイで洗濯畳みや簡単な調理などの生活リハビリを行っているので、自宅でも家事の簡単なお手伝いを行う習慣ができると、将来の自立度向上につながります。(→母親も即日に取り入れますと)



特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
地域リハビリ推進室 室長
デイサービスセンターつながる センター長
木原秀樹 (理学療法士)